

II 学校の現況

1 学校の規模

(1) 位置 〒416-0944

富士市横割1丁目8番1号（電話 0545-61-0414）

東経 138度39分23秒

北緯 35度8分41秒

標高 11.984m

(2) 学区

行政区 四丁河原南、柳川、橋下、水戸島上南、水戸島中、水戸島下、
上横割、下横割南、下横割北、十兵衛南町

字名 水戸島、水戸島元町、水戸島本町、十兵衛、横割、横割本町、
下横割、松岡、宮島

(3) 児童数、学級数、職員数、面積

5. 5. 1

児童数	学級数	職員数	
		県費職員	市費職員
566人 男(257人) 女(309人)	通常学級 18 特別支援学級 3	32 (育休4)	12 (サポート員2) (学校図書館司書1)
校地総面積 22,347 m ² (6,772 坪)		校舎敷地面積 (体育館を含む)	9,772 m ² (2,961 坪)
		運動場面積	9,041 m ² (2,740 坪)
		その他 (プール、仲よし山等)	3,534 m ² (1,071 坪)

2 学校の施設

(1) 普通教室 21

(2) 特別教室 13 音楽室、多目的室、パソコン室、図書室、図工室、
家庭科室、理科室、学習室 6

(3) 管理室 7 職員室、校長室、事務室、印刷室、放送室、相談室、
更衣室

(4) 体育館 1 舞台、体育器具室[4]、男女更衣室兼シャワー室、
放送室、男女便所、身障者用便所

(5) プール 2 大プール 25m×15m 水深 110cm-70cm
小プール 15m×7m 水深 70cm-50cm
(機械室、倉庫、更衣室、便所、シャワー、洗顔場)

(6) 給食室 1

(7) その他 購買室、教材室[4]、準備室[3]、雑庫[5]、楽焼室、
体育器具庫[3]、石灰庫、LPガスボンベ室[2]、
石油保管庫、変電室、ポンプ室、清掃用具置き場

3 学区の状況

北は JR 東海道線、南は東海道新幹線に挟まれる形で東西に長く広がる学区は、駅南地区と呼ばれる落ち着いた住宅街である。かつては、富士梨や富士キャベツ等の産地として農業も盛んであったが、次第に住宅街へと変わり、駅南商店街の活性化、区画整理が図られ、学区にはアパート、マンションが急増し、人口及び児童数が急増した。そのため、本校は、1,700 人を超える大規模校になり、昭和 53 年 4 月 1 日学区を改変した。それにより富士南小学校が新設され、本校の児童数は 900 人有余となり適正規模化した。その後は少しずつ減少し、昭和 63 年度には 700 人台、平成 10 年度には 600 人台となった。それ以降増加と減少を繰り返していたが、ここ数年は減少傾向にある。令和 4 年に 500 人台となり、現在（5 月 1 日）の児童数は 566 人である。

保護者の学校教育への関心は高く、PTA 活動等も工夫に工夫を重ね、意欲的に取り組んでいる。学校行事には多くの保護者が参観に訪れ、ふれあい協力員制度への登録も多い。学校の協力依頼には多くの保護者が快く賛同し、子どもの安全確保や学習支援など協力を惜しまない地域である。また、ふれあい協力員制度の推進員には、地域にある各種団体の長の方をお願いしているので、その団体の会員の協力もいただいている。

平成 29 年度よりコミュニティー・スクールとしての体制が整い始め、学校・家庭・地域が一体となって知恵を出し合い、学校運営に反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めている。令和 4 年度からは「CS ボランティア」制度を導入し、ふれあい協力員とともに学校への保護者・地域の協力が一層進んでいる。

核家族化や共働き家庭の増加、保護者の教育に対する考え方の多様化等、現代社会の一般的な傾向は本校にも当てはまっているが、それを乗り越える程の協力が得られる地域である。

(1) 児童の姿

<学習や運動に素直に取り組む子が多い>

周囲のできごとや物などに対して興味・関心をもち、学習意欲も旺盛である。また、外遊びも好きであり、朝や休み時間、放課後には運動場に出て元気よく遊ぶ子がたくさんいる。友達の話の聴いたり、自分の思いを伝えようとしたりする子どもが増え、友達の意見を取り入れて考えを深めたり、自分なりに工夫して行動しようとしたりする姿が見られる。

<明るいあいさつができ、優しい子が多い>

友達同士や教師に対してだけでなく、来校した方にも元気よくあいさつできる子が多い。また、校外学習の時や、登下校中などでも、地域の方にすすんであいさつできることをよくほめられる。子どもらしい明るさとさわやかな姿に、だれからも好感をもたれるようである。さらに、特別支援学級の児童や転入生にも、分け隔てなく、優しい気持ちで接することができる。

<図書館を活用する力を、今一度取り戻す>

学校図書館教育に力を入れてきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響で、図書館の利用が限定されていたため、読書に親しむ体制を今一度見直す。本来、読書や本を活用する力をもつ子どもたちであるので、地域の読み聞かせグループ（りどりす）の協力も得ながら、読書旬間の設定、朝の読書（読み聞かせ）の時間設定、ペア学年での読み聞かせ、教師による読み聞かせ等の設定で、本に親しむ工夫を行っていく。

(2) 学区地図



印刷日時：2017年07月14日 9時15分03秒

印刷実行ユーザ一名 18044775